

地域銀行の令和 6 年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 令和 6 年 9 月期の当期純利益は、資金利益の増加や債券等関係損失の減少等により、前年同期に比べ、27%の増益。

（単位：億円）

	R4 年 9 月期	R5 年 9 月期	R6 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	20,796	20,622	22,896	2,274
資金利益	19,522	19,247	20,987	1,740
役員取引等利益	3,157	3,310	3,518	208
その他業務利益	▲ 1,911	▲ 1,958	▲ 1,634	324
うち、債券等関係損益	▲ 2,677	▲ 1,791	▲ 1,289	502
経費	▲ 14,015	▲ 14,224	▲ 14,602	▲ 378
実質業務純益	6,780	6,397	8,294	1,896
コア業務純益	9,457	8,189	9,584	1,395
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	8,817	7,983	9,306	1,323
与信関係費用(※)	▲ 575	▲ 645	▲ 674	▲ 29
株式等関係損益	1,826	2,095	1,900	▲ 196
当期純利益	5,938	5,633	7,158	1,524

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

	R4 年 9 月期	R5 年 9 月期	R6 年 9 月期
貸出金（末残）	305.5 兆円	317.7 兆円	326.5 兆円

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 令和 6 年 3 月期に比べ、不良債権残高は概ね横ばい、不良債権比率は低下。

	R5 年 9 月期	R6 年 3 月期	R6 年 9 月期
不良債権残高	5.6 兆円	5.7 兆円	5.6 兆円
不良債権比率	1.73%	1.73%	1.69%

3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 令和 6 年 3 月期に比べ、国際統一基準行の総自己資本比率は低下した一方、国内基準行の自己資本比率は上昇。

（国際統一基準行：10行）

	R6 年 3 月期	R6 年 9 月期
総自己資本比率	15.39%	15.04%
Tier1 比率	15.06%	14.75%
普通株式等 Tier1 比率	15.04%	14.71%

（国内基準行：90行）

	R6 年 3 月期	R6 年 9 月期
自己資本比率	10.07%	10.14%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）R4年9月期～R6年9月期の集計対象は100行（地方銀行62行、第二地方銀行37行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。